

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年12月25日更新

事務事業名	中央汚水幹線及び堀川汚水幹線維持管理負担事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	2 緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	水道局	課長名	水野 孝春
	施策	10 水環境の保全			所属課	上下水道課	担当者名	中山 大志
	基本事業	30 水質の浄化			所属班	庶務料金班	(内線)	1164
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	下水道法 菊陽町とのセミコンテノパーク維持管理規約及び協定	
	下水	1	1	3	10230		成果優先度評価結果	⑦
							コスト削減優先度評価結果	—
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	熊本北部流域下水道を構成する菊陽町との協定により、中央汚水幹線、堀川汚水幹線及びセミコンテノパーク汚水中継ポンプ場の維持管理等の経費を負担する。昭和57年に熊本県が事業主体となり、合志町、熊本市、菊陽町の3市町による北部流域関連公共下水道事業が始まり、供用開始となった平成元年より旧合志町の一部区域について、汚水を菊陽町の汚水幹線に放流することにより始まった。供用開始より約20年が経過しているため、施設の老朽化が心配される。平成24年度より菊陽町下水道事業の企業会計移行に伴い、セミコンテノパーク維持管理規約及び協定について改正を行い、菊陽町が収納した合志市分の下水道使用料については全て合志市に支払い、維持管理にかかった経費についてはお互いの実排水量に応じた負担割合で負担することとなった。
【業務の流れ】	中央汚水幹線、堀川汚水幹線及びセミコンテノパーク汚水中継ポンプ場の維持管理等の経費に係る合志市の負担金の算出、協議、検討、支払事務(経費の負担は実排水量による)。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金。
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特になし。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)	25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
維持管理等負担金の算出、協議、検討、支出。	維持管理等負担金の算出、協議、検討、支出。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 負担金の額	千円 ・セミコンテノパーク維持管理負担金の増に伴う増。
イ:	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
・ポンプ場及び関連施設。	→ ア: 堀川汚水幹線への放流量 m ³
	イ: セミコンテノパーク内合志市事業所分排水量 m ³
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
・施設が支障なく稼働できるようにする。	→ ア: 中央汚水幹線及び堀川汚水幹線維持管理事業において適正に負担金が精算された割合 %
	イ: セミコンテノパーク内下水道事業事務委託において適正に負担金が精算された割合 %
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠	
・中央汚水幹線及び堀川汚水幹線、セミコンテノパークの維持管理費用については、全て関連市町からの負担金で賄っているので、負担金が適正に精算されることは中央汚水幹線及び堀川汚水幹線、セミコンテノパークの適正な運営に繋がっていると考える。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	22年度	23年度	24年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 千円	4,370	2,696	3,359	2,932	16,637	13,086	16,700	16,700
	イ								
② 対象指標	ア m ³	1,895,329	2,032,212	2,176,000	2,227,661	2,180,000	2,190,000	2,200,000	2,210,000
	イ m ³	0	0	0	0	200,000	200,000	200,000	200,000
③ 成果指標	ア %	100	100	100	100	100	100	100	100
	イ %	0	0	0	0	100	100	100	100
投資入費量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	4,370	2,696	3,359	2,932	16,637	13,086	16,700
	繰入金	千円							
	一般財源	千円							
(A) 事業費計	千円	4,370	2,696	3,359	2,932	16,637	13,086	16,700	16,700
	(A)のうち指定経費	千円	4,370	2,696	3,359	2,932	16,637	13,086	16,700
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	3	4	3	4	3	3	3
	延べ業務時間	時間	25	32	25	28	25	25	25
(B) 人件費計	千円	103	129	100	113	100	100	100	100
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,473	2,825	3,459	3,045	16,737	13,186	16,800	16,800

事務事業名	中央汚水幹線及び堀川汚水幹線維持管理負担事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	------------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 菊陽町との協議に基づく支払事務であり、目標達成できる。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 菊陽町が主体となって行う事業であり、最大効率で成果をあげているため向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 当処理区域に限られた維持管理業務であるため、統廃合・連携はできない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 協定に定められた負担割合に基づく負担金を支出しているため削減余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の人員により事業を実施している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 受益者より使用料を応分負担して頂いているので、適切である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 公共性の高い事業であり、負担割合の算定方法も合理的である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

菊陽町との協議に基づき、適正な負担割合で算定でき、精算することができた。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>現状を維持する。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						